

北遠 大洞山から常光寺山周遊

2014年5月25日(日) 晴れ

L : ふじ、布田、磯部N(記)

水窪周辺には標高 1 0 0 0 M内外の山々が幾つか点在している。
そのなかで、竜頭山は有名だが、他の山は展望が無かったり、登山道がはっきりしなかったり、
それ故、地図読みをしつつ、踏み跡を捜しつつ、少し冒険心をくすぐられながら歩くには面白い。

行程が長く、体力を要するので、日が長く、新緑の美しい、しかもあまり暑くない季節に歩いてみた。
高根城趾公園へ通じる林道・立山線に入り 1 5 0 Mほど登ると左手に大洞山の登山口の看板が立っている。



大洞山 登山口

登り初めから、杉の植林帯の道は傾斜もあり、ジグザグに切ってあるが、杉の枝や葉が積もって歩きにくい。
時々、テープが出てくるのでそれを拾っていく。



倒木を乗り越えて、進む

鹿ネットをくぐって、ひと登りすると尾根にでて、後はずっと尾根づたいに進む。
大洞山直下は両側が切れ落ちた痩せ尾根で、しかも岩稜帯で滑落事故も起きているので足場を確認しながら慎重に乗り越えた。



大洞山頂上は樹林の中

大洞山から一旦下って、そこから1 km以上続く登りに疲れ果てた頃、井戸口山に着いた。

この山頂直下をスーパー林道が通っている。

井戸口山からは、なだらかに下って、スーパー林道を3回ほど横切り、山住峠へ至る。

（スーパー林道から山道へ入る箇所を間違えて下った道を登り返すハプニングもあり、方向を確認する必要性を実感。）



井戸口山からのなだらかな下り



スーパー林道の通る山住峠に降り立つ

山住峠から家老平まで林道を歩いて、再び常光寺山の登山道へ入る。
このコースはよく整備されていて、歩きやすい。登山口からしばらくならかな道で、そのあと急登になるが、雑木の林の中に緑のトンネルのような道が続いた。
時々シロヤシオ、ツクバネウツギミツバツツジの花が咲く道だった。



木全体が白く見えるほど小梨の花は真っ盛り

ナダクマシロ山を越えて、一旦下り、再び100Mほど登り返すと常光寺山の頂だ。
山頂下で、ヤマウツボとヤマシャクヤクの珍しい花にも出会えた。



花期が短くめったにみれないヤマシャクヤク

木が切り払われた南面からは、下のほうに家老平が見え、竜頭山や歩いてきた稜線が見えていた。ここでようやく今日の登りは終わった。後は下るだけだ。

下りも稜線をはずさないように進むが常光神社付近で、踏み跡が薄くなったのでしばらくうろうろ。下りは里が近くなると林道で下山道がしばしば途切れるので、現在地がはっきりしなくなり、時間もかかって上村の民家が見えたときはほっとした。



ようやく車道へ出て一の瀬橋を渡る

民家の人に道を尋ねて、ようやく山住神社へ通じる道へ戻り、車道を高根城趾へ向けて登り返して車に戻った。



薄暗くなりかけた大洞山登山口

ヒルの生息地だったが駐車場まで被害がなかったため、安心していたら、車のフロントガラスと車中に一匹ずつ出現。

さらに家にかえたら首にダニが着いていて、最後にぎゃーの山行だった。

<タイム> 大洞山登山口(7:10)－大洞山 (9:12)－井戸口山(11:28)－山住峠(13:05)－常光寺山 (15:20)－一の瀬橋(18:20)－大洞山登山口 (18:33)

以上